

7 当院にて手術を受けた、膵・胆管合流異常症の4例

摺木 陽久・上野 亜矢・佐藤 秀一
 山田 明*・阿部 要一*・西倉 健**
 新潟医療生活協同組合木戸病院内科
 同 外科*
 新潟大学大学院医歯学総合研究科
 分子・診断病理学分野**

〔症例1〕52歳，女性。糖尿病の教育入院時，腹部超音波検査にて総胆管の拡張を指摘されたことを契機に，先天性胆道拡張症合併の膵・胆管合流異常症と診断された。肝外胆管切除・肝管空腸吻合術が施行されたが，腫瘍は認めなかった。

〔症例2〕24歳，女性。腹部膨満感，右季肋部痛を契機に，先天性胆道拡張症合併の膵・胆管合流異常症と診断された。肝外胆管切除・肝管空腸吻合術が施行され，胆管癌を認めた。

〔症例3〕33歳，女性。右季肋部痛を契機に，先天性胆道拡張症合併の膵・胆管合流異常症と診断された。肝外胆管切除・肝管空腸吻合術が施行された。胆管結石を認めたが，腫瘍は認めなかった。

〔症例4〕53歳，女性。悪心・嘔吐，心窩部痛を契機に，膵・胆管合流異常症と診断された。総胆管癌合併のため，幽門輪温存膵十二指腸切除術が施行された。膵・胆管合流異常症は胆道系の癌を合併することがあり，手術が基本である。若干の文献的考察を含めて報告する。

Session III 『膵』

8 嚢胞性腫瘍との鑑別に苦慮した腎細胞癌膵転移の1例

塩路 和彦・成澤林太郎・富樫 忠之*
 青柳 豊*・黒崎 功**・加藤 卓***
 新潟大学医歯学総合病院光学医療
 診療部
 新潟大学大学院医歯学総合研究科
 消化器内科学分野*
 同 消化器・一般外科学分野**
 同 分子・診断病理学分野***

症例は70歳代の男性。1996年に左腎細胞癌にて左腎摘出術を受けている。

2000年以降経過観察されていなかったが，2008年8月内科受診した際に泌尿器科も受診。経過観察目的に全身CTを施行したところ膵尾部に嚢胞性病変を指摘された。dynamic CTでは嚢胞壁は強く造影され，IPMNやMCNとは異なる所見であった。EUSでは嚢胞壁は厚く，内部には鏡面形成も認め，充実性腫瘍の内部壊死が疑われた。MRIでも同様に内部に鏡面形成を認め，膵内分泌腫瘍の嚢胞変性を第一に考えた。

膵体尾部切除が施行，病理では明るい胞体の腫瘍細胞を認め，腎細胞癌の膵転移と診断された。嚢胞変性を来した腎細胞癌膵転移の報告は少なく，興味深い症例と考えられたため報告する。

9 膵疾患におけるEUS-FNAの現況

中村 厚夫・水野 研一・八木 一芳
 関根 厚雄

県立吉田病院内科

当院のEUS-FNAの件数は現在35件，うち膵疾患は11件，膵癌8件，腎癌膵転移1件，慢性膵炎疑い1件，AIP疑い1件であった。膵癌は8件中6件EUS-FNAにて診断された。

EUS-FNAで癌と診断した6件中5件は化学療法目的で1件は他院で手術を行った。慢性膵炎は膵癌の可能性を否定できず組織を行ったが癌細胞は検出されず慢性膵炎として経過観察中。AIPは臨床的に診断したが組織は得られなかつ